

# きつき城下町資料館

## 展示・催し物のご案内



2019年

4月

### 展覧会 春季企画展『非戦の提督 堀悌吉 -60年ぶりの里帰り-』

4月27日(土)～6月2日(日)

大分県杵築市八坂出身の海軍軍人・堀悌吉は、明治から昭和にかけて日本の軍備が拡張される中で、自身の戦争経験と先見性からいち早く軍縮を訴え、「戦争は悪である」という思想をもった稀有な軍人として知られています。本企画展では、堀悌吉を育んだ故郷・杵築ゆかりの関連資料をはじめ、堀が抱いた非戦への想いや盟友・山本五十六との交流の様子などを紹介します。



「堀悌吉肖像写真」(個人蔵) 「恩賜の銀時計」(大分県立先哲史料館蔵)

### 講演 5月18日(土) 14:00～15:30

#### 記念講演会

- ◇講師 安田晃子氏(宇佐市教育委員会)
- ◇会場 杵築市生涯学習館 第2・3研修室

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

2020年

### 展覧会 秋季企画展『新収蔵品展』 9月14日(土)～11月4日(月・祝)



市有形文化財 「明月寺千手観音像」(海蔵寺)



「柿石石谷画 荷宮夢庵肖像画」(個人蔵)

きつき城下町資料館は、平成5年に開館し、これまで市内をはじめとする多くの方々から資料を寄贈または寄託していただいています。現在、資料館には、古文書などの歴史資料や刀剣、書画などの美術工芸品、七島藩に関わる民具資料など合わせて2000点以上の資料を保管しています。

今回はその資料の中から、新たに収蔵したのもやこれまであまり展示されていない資料に注目し、新たな杵築の魅力を探ります。

※資料保護のため期間中展示品の入れ替えを行う場合があります。

### 展覧会 重伝建選定2周年記念 ペーパークラフトで見る・知る伝統的建造物の世界

11月16日(土)～1月19日(日)

江戸時代、武士の居住地であった杵築市北台南台(重要伝統的建造物群保存地区)には、現在でも多くの武家屋敷が残っています。特に家老職を勤めた武士の居宅であった大原邸(県指定有形文化財)は、杵築城下町を代表する建物です。今回、山梨大学教授田中勝氏のご協力のもと大原邸の1/100のペーパークラフトが完成しました。模型にすることによる発見や他地域の伝統的建造物模型と比較することによって気付いた杵築武家屋敷の魅力を紹介いたします。

### 講演 11月24日(日) 重伝建選定2周年記念シンポジウム

- ◇講師 田中 勝氏(山梨大学大学院教授)



### 展覧会 定期展 『ひいなめぐり』

2月中旬～3月下旬

毎年、杵築城下町全体でお雛様を展示するひいなめぐり期間に合わせて、資料館も会場の一つとして展示を行います。年に一回、杵築藩ゆかりのお雛様が県立歴史博物館から里帰りします。



※都合により日程等が変更される場合があります。

## きつき城下町資料館

大分県杵築市南杵築193-1  
TEL 0978-62-5750

- ◇開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- ◇休館日 毎週月曜(※祝日の場合は、翌平日が定休日)  
12月29日～1月3日
- ◇観覧料 個人(一般 200円 / 小・中学生 100円)  
団体(一般 160円 / 小・中学生 80円)



—きつき和服応援宣言—



# 手ぶら **de** きもの散策

着物でランチ、着物でデート、着物で買い物、  
ご友人と、ご夫婦で、恋人と、ご家族で…  
気軽に着物を楽しみませんか？

特典  
1

和服で散策すると…  
**公共観光文化施設の  
観覧料が全館無料!**  
杵築城・大原邸・きつき城下町資料館  
磯矢邸・一松邸・佐野家・重光家

特典  
2

約30店舗で  
**食事割引や  
粗品進呈!**

## きものレンタル&着付け

お一人様

**3,000円** (着物・着付け・  
帯・草履・襦袢・  
足袋込)

時間/10:00~16:00 (受付14:00まで)  
場所/レンタルきもの 和楽庵

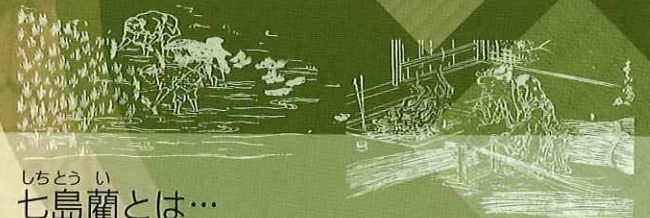
カップル  
割引あり

レンタルきもの  
わらくあん  
**和楽庵**  
杵築市役所向かい  
TEL 0978-63-1210



## しちとうい 七島藪製品

きつき城下町資料館では、  
七島藪で作られた製品を販売しております。



しちとうい  
七島藪とは…

七島藪は、主に畳表の原料として使われる東南アジア  
原産の植物です。日本では江戸時代以前、琉球や薩摩で  
栽培が行われていました。杵築市での栽培の歴史は  
約350年と古く、伝来したのは1660年以降と伝えられて  
います。

江戸時代・杵築藩にとっては有名は特産品であり、  
藩の財政を担う貴重な産業となっていました。時代  
の変化と共に七島藪の栽培は衰退していきました。

現在栽培しているのは大分県・国東半島のわずか10軒  
ほどの農家のみであることもあり、七島藪で作られた  
工芸品は大変貴重なものとなっています。

ざぶとん・円座・鍋敷き・コースター